

「新しい『日本研究』の理論と実践」ワーキングペーパー投稿要領

2011年11月2日制定
2012年10月10日改定

1. (シリーズの目的) 当ワーキングペーパーシリーズは、SFC 研究所日本研究プラットフォーム・ラボによる文部科学省私立大学戦略的基盤形成支援事業「新しい『日本研究』の理論と実践」(以下当研究という)の趣旨に沿って行われた研究成果をタイミングよく一般に公開するとともに、それに対して幅広くコメントを求め、議論を深めていくことにあります。そのため編集委員会は、当研究の参加者(以下「研究メンバー」という。当研究ウェブサイトにて氏名を記載)またはその共同研究者等(下記の4を参照)による積極的な投稿を期待しています。
2. (集録論文の性格) シリーズに集録する論文の言語は問いません。集録対象は、未発表論文だけでなく、学会報告済み論文、投稿予定論文、研究の中間報告的な論文、当研究が主催・共催するシンポジウムやワークショップ等における報告論文、シリーズの趣旨に合致する既発表論文(リプリント)など、様々な段階のものを想定していますが、性格的には原則として研究論文といえるものとします。集録論文のテーマは比較的広く設定しますが、上記趣旨に鑑み、原則として日本研究に関連するものとします。
3. (投稿の方法) 投稿は、論文の文書ファイル(図表等が含まれる場合はそれらも含めて一つのファイルにしたもの)を電子メールによって下記にあてて送信してください。文書ファイルは、原則としてMS-Wordで書かれたものとします。なお、投稿の締切り期限は特に設けず、随時受け付けます。
4. (投稿資格) 当研究メンバーおよび慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスの専任教員は直接投稿できるものとしますが、それ以外の研究協力者(共同研究者あるいは当事業リサーチアシスタント等)は必ず研究メンバーを経由して投稿してください。この場合、経由者となる研究メンバーは、論文の内容や形式等を十分に点検するとともに必要な修正を行い、責任が持てる論文にしたうえで提出してください。投稿論文の著者には、SFC 博士課程および修士課程の学生やSFC 学部学生、SFC 博士課程修了者を含みます。SFC 以外の学部生または大学院生は原則として第一著者になれません。
5. (論文査読の有無) シリーズの趣旨に鑑み、一般の学術専門誌のような論文査読は行わず、できるだけ幅広く集録してゆく方針です。ただし、シリーズの趣旨に合致する論文とは言いがたいと判断される場合には、編集委員会は、1) 当該論文の採録を見送る、2) 掲載するうえで必要な改訂(体裁その他の点)を著者に依頼する、などの対応をとることがあります。編集委員会が投稿原稿を受理した場合、通常14日以内に必要な改訂の有無を執筆者に電子メールで直接ご連絡します。
6. (投稿料・原稿執筆料) 投稿料は不要です。一方、原稿執筆料は支払われません(ただし、編集委員会が認めた場合はこの限りではありません)。
7. (著作権) ワーキングペーパーの著作権は、当該論文の執筆者に帰属します。

8. (公開方法) 本シリーズに含まれる論文は、編集委員会が統一的な様式に変換したうえで、ウェブサイトにおいて、PDF ファイル形式によるダウンロード可能な状態で掲載し、公開します。また冊子印刷による公開をする場合もあります（なお提出原稿にカラー図表等が含まれていても構いませんが、それらは冊子印刷に際しては全てモノクロとなります）。

9. (原稿執筆要領) 提出原稿の作成にあたっては、次の点に留意してください。

- 1) A4 版、横書き、各ページ 1 列組み（2 列組みは不可）。
- 2) 活字サイズは、日本語または中国語の場合 10.5～11 ポイント、英語の場合 11.12 ポイントとする。1 ページあたりの分量は、日本語または中国語の場合 1 ページ 40 字 30 行、英語の場合 1 ページ 30 行をそれぞれ目安とする（これら 3 つの言語以外の言語による場合は適宜読み替える。以下同様）。
- 3) タイトルページ（1 枚目）には、論題、著者名、著者の所属と肩書き（大学院生の場合には修士課程在学中か博士課程在学中かを明記のこと）、著者の電子メールアドレスのほか、必要に応じて論文の性格（学会発表の経緯など）や謝辞を記載。「当事業の研究成果である」といえる場合には必ずその旨を記載する。なお、日本語論文の場合は、論題（メインタイトルおよびサブタイトル）ならびに著者名の英語表示もページ下方に適宜記載する（当該論文には印刷しないが、英文ワーキングペーパー末尾に付ける既刊一覧表で必要となるため）。
- 4) その次のページ（2 枚目）には、論題、著者名、概要、キーワード（4-6 つ程度）を記載。概要は必須とし、ひとつの段落で記載する。その長さは 7-12 行（日本語論文または中国語論文の場合は 250 字-400 字程度、英文論文の場合は 150 語程度）を目安とし、単に論文の構成を記述するのではなく分析手法や主な結論など内容面の要約も必ず記述する。なお、中国語論文の場合の概要は、中国語に加え、英語または日本語でも付けること。
- 5) 本文は、その次のページ（3 枚目）から始める。
- 6) タイトルページを第 1 ページとし、論文全体に通しページ（下方中央）を付ける。
- 7) 注は、論文全体として通し番号をつけ、該当ページの下方に記載する（論文の最後にまとめて記載するのではなく）。
- 8) 図と表は区別し、それぞれ必ずタイトルをつける。またそれぞれ通し番号をつける。それぞれの挿入箇所を明示する（図表自体は論文末尾に一括添付する）か、あるいは本文中に直接はめ込むか、いずれでもよい。
- 9) 引用文献は、本文の最後にまとめて記載する。その場合、日本語文献、外国語文献の順。日本語文献は「あいうえお」順、外国語文献は「アルファベット」順。
- 10) 文献リストには、引用した文献のみを記載し、引用しなかった文献は記載しない。
- 11) 論文の長さは、特に制約を設けないが、研究論文として最も一般的な長さと考えられるもの（本文が 15-30 ページ程度）を目安とする。

10. (投稿要領の改訂) 投稿要領の最新時点のものは、随時、当事業のウェブサイトに掲載します。

論文の投稿先・お問い合わせ：jsp-wp@sfc.keio.ac.jp

論文の PDF 版：<http://jsp.sfc.keio.ac.jp/>

ワーキングペーパーシリーズ編集委員会：平高史也（編集幹事）、奥田敦、加茂具樹、國領二郎、清水唯一朗、神保謙、土屋大洋、古谷知之